

08 文部科学省 構造特区第26次 再検討要請回答

管理コード	080070	プロジェクト名	
要望事項 (事項名)	大学獣医学部の設置の認可	都道府県	愛媛県
		提案事項管理番号	1033010
提案主体名	愛媛県 今治市		

制度の所管・関係府省庁	文部科学省
該当法令等	平成15年3月31日文部科学省告示第45号「大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
制度の現状	現在、獣医関係学部・学科の入学定員については、現行の養成規模により獣医師を供給すれば、必要となる獣医師総数を満たすとの考えに基づき抑制を行っています。

求める措置の具体的内容	平成15年3月31日文科省告示第45号「大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」による獣医師の定員増の規制の地域解除
具体的事業の実施内容・提案理由	<p>●具体的事業の実施内容</p> <p>獣医師養成機関の空白地域である四国(愛媛県今治新都市)に新しい大学獣医学部を設置し、四国地域の獣医療技術レベルの向上はもとより、国際的な信頼を得られる獣医療技術レベルを目指すため、「危機管理支援」、「二次診療・高度獣医療」、「卒後教育・人材育成」の三大機能を有し、従来型の獣医師養成教育にとどまらず、「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議の議論のまとめ」にもある社会的ニーズへの対応も踏まえた、『新たな獣医療教育体制』を整える。</p> <p>●提案理由</p> <p>◎『新たな獣医療教育体制』を目指す新しい大学は、四国ゾーンにおける人獣共通感染症等に対応する危機管理の支援として、地域の特性に応じた「広域的な地域危機管理の支援拠点」となる。</p> <p>また、動物診療に対する高度化・専門化が進んでいる中、グローバル時代に対応した国際水準の獣医療技術レベルへの向上を目指した、「最先端の動物二次診療・高度獣医療の拠点」となり得ると共に、現役獣医師の知識や技術の「国際水準に通じた卒後教育拠点」となる。</p> <p>さらに、「協力者会議の議論のまとめ」において、「獣医師養成機関の全国的な配置について意を用いる」とされているところである。</p> <p>◎社会的ニーズとして、持続的経済成長戦略のキーとなる規制緩和と新規経済成長産業の開発・育成を考えると、IPS細胞に代表されるライフサイエンス分野を支える獣医師の育成が不可欠である。新しい大学は、疾病の防止・公衆衛生の進展など人間の健康の確保に寄与する獣医学の知見の有用性を背景に、ライフサイエンス分野で活躍できる「優秀な人材や研</p>

「研究者及び教育者を養成する拠点」となる。

○各府省庁からの提案に対する回答

提案に対する回答	措置の分類	F	措置の内容	Ⅲ
<p>入学定員を含む獣医師養成の在り方については、文部科学省に「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」を設置し、検討を行ってきたところである。</p> <p>研究協力者会議における「議論のまとめ」が6月に取りまとまったところであり、「議論のまとめ」を踏まえ、引き続き、獣医師養成を目的とした従来型の獣医学教育にとどまらず、社会的ニーズを踏まえ新たに対応すべき分野を含め、平成26年度内に速やかに検討を行う。</p> <p>なお、平成26年5月の「構造改革特別区域の第24次提案等に対する政府の対応方針」（構造改革特別区域推進本部決定）において、「平成26年度内に速やかに検討を行う」とされたところ。</p>				

○再検討要請及び再検討要請に対する回答

再検討要請				
右提案者からの意見を踏まえ、現在の検討状況及び結果公表までのスケジュールを具体的に回答されたい。				
提案主体からの意見				
当該提案に対する回答として、提案の実現に向けて平成26年度内に速やかに検討を行うとされているが、その期限が近づいている中、改めて、現在の検討状況及び結果公表までのスケジュールを具体にご教示いただきたい。				
再検討要請に対する回答	「措置の分類」の見直し	F	「措置の内容」の見直し	Ⅲ
現在の提案主体による既存の獣医師養成でない構想が具体化し、ライフサイエンスなどの獣医師が新たに対応すべき分野における具体的な需要が明らかになり、かつ、既存の大学・学部では対応が困難な場合には、近年の獣医師の需要の動向も考慮しつつ、全国的見地から本年度内に検討を行う。				